

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	34	34	33	0
	一般財源	(千円)	5,495	9,085	16,379	0
事業費計		(千円)	5,529	9,119	16,412	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	4,235	4,070		
事業コスト		(千円)	9,764	13,189		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 報酬：運営委員報酬 8,000円×7人×2回=112,000円 旅費：運営委員会委員費用弁償 2,000円×7人×2回=28,000円 需用費：消耗品費+印刷製本費+光熱水費+修繕費 148,000円+19,000円+996,000円+109,000円=1,272,000円 役務費：通信運搬費+手数料+保険料 215,000円+77,000円+40,000円=332,000円 委託料：維持管理委託料+定期調査委託料+設計委託料 4,008,000円+374,000円+1,364,000円=5,746,000円 使用料及び賃借料：テレビ放送受信料+複写機賃借料+A E D賃借料 15,000円+18,000円+78,000円=111,000円 工事請負費：修繕工事 8,811,000円
-------------	--

予算の方向性	理由	開館以来28年が経過し、施設の老朽化が目立ってきた。令和2年度は、沼田地区の公共下水道供用開始に伴う施設内の下水道の接続及び軽運動室の照明を交換する工事を予定している。また、3年度に工事を予定する。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	155	164	172	0
	一般財源	(千円)	394	371	402	0
事業費計		(千円)	549	535	574	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	2,823	2,714		
事業コスト		(千円)	3,372	3,249		

R02年度当初積算根拠	報償費：講師謝礼					
	(講師)	7,000円×72回=504,000円				
	(講師補助者)	3,500円×20回=70,000円				

予算の方向性	理由	女子勤労者の福祉の向上を図るため、前年と同様の講座を開催する。
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		